

東急台自治会

当自治会は結成して40年が経過します。現在、長寿会の会員が松風自治会と協力して市に要望してきた四条通りの工事が、始まろうとしています。その工事内容の説明を受けるため、1月26日に集会を開きました。車の速度を制限させるために両側に縁石つきの歩道を設け、車道幅を狭くし、センターラインをなくすモデル道路の実現を期待しています。

また、2月4日には、自治会の最大の関心ごとである「自治会長順番制設立委員会」の第1回会合が開かれました。なり手が少ない自治会長候補者を、いかにして会員の中から選出するかについて、活発な議論が交わされました。



委員会では、自治会長順番制の9月導入を目指しています

わかるかな？ 今月の写真クイズ

写真は、今月の広報さやまに掲載してある写真の一部を拡大したものです。何ページの何の写真でしょうか？

解答をお寄せいただいた正解者の中から、抽選で5名に記念品を差し上げます。官製はがきで広報課までにお送りください。  
締切り3月31日(当日消印有効)

2月10日号の答え

13ページの「ふじみ寿大学生を募集」でタオルを持つ手元の写真でした。



表紙の写真

2月27日(日)博物館で体験学習「お姫さまになろう!」を行いました。日本の伝統文化を感じさせる香と琴の音色の中、参加した女の子たちは、着付けにあたった先生方にきれいな着物を着せてもらいました。ほんのり化粧をした「お姫さま」は、鏡に映った自分の姿をちょっと照れながらも、うれしそうに眺めていました。

池原 昭治

さやまの会本

第118話



歯いたどめの神さま

北入曾の旧鎌倉街道沿い、七曲井のある観音堂から野々宮神社に向かう道端に、めずらしい「歯いたどめの神さま」が立っております。

昔、村にはお医者もおらず、何かあったときには遠くの町まで行かなければなりません。そこで、病で苦しんでいる人たちは、道端のお地藏さんや馬頭さんに願懸けをす

ることがありました。

ある親子がいました、子どもは偏食がひどく、甘いものばかり食べていましたので、とうとう虫歯になってしまいました。そんなときは北入曾の歯いたどめの神さまだ」と、

おばあさんに言われまして願懸けに行くことにしました。そこに行くときは必ず自分の使っているお箸(はし)をもって行くそうです。そして何日か願懸け、無事、歯の痛みが治ります。

ましたら、おかげさまでよくなりましたとお

礼を述べて、お箸を倍にしてお供えするのだそうです。この神さま、よほどご利益があると思えまして、今も小さな石の祠(ひら)の前には色とりどりのお箸がいっぱい供えられております。そして、祠の中には、なぜか「水神さま」と「稲荷さま」の二柱(ふたはしら)がまつられています。



広報さやま Vol.596 発行日・平成17年3月10日 発行・狭山市 編集・狭山市総合政策部広報課  
〒350-1380 埼玉県狭山市入間川1-23-5 04-2953-1111 04-2954-6262  
公式ホームページ http://www.city.sayama.saitama.jp/ モバイルサイト「iモード」サマー http://www.city.sayama.saitama.jp/mobile/



狭山市公式モバイルサイトのQRコード